

(1面のつづき)

ている。

副市長は卸問屋・永代と契約したジェネリック薬品が高かったことは認めました。し

## 診療所の経営に影響を与えた

### ことは否定できず

安江 薬剤を高値で買い続けたことは、診療所の経営にとっても市民にとっても大きな損害を与え、これは特別背

任罪になるのではないかとの指摘がされましたが、どのよう

に検討されましたか。副市長 我々も調査したが、ジェネリックの部分は薬代の一部で、当時の診療所の経営に影響をどのくらい与え

かし、永代と随意契約した理由に「ジェネリック薬品を扱っている所が身近になかった」とびっくりするような理由を挙げました。

副市長は診療所の経営に影響を与えたことは否定できませんでした。調査をしたと言いますが、健康ほけん課長は薬剤については調べていないと矛盾したことを述べています。一体誰がどんな調査をしたのでしようか。

市は6月議会で、この問題が取り上げられるのが分かってから慌てて調査を始めたのは明らかです。5年前に調査をしていたなら、平成20年以前の書類は全て残っています。書類のない部分は当時の職員から聞いたとしています

## 財務規則違反を認めず

安江 前所長時の薬剤購入は、市の財務規則に従って行われていましたか。

健康ほけん課長 薬品の購入等については財務規則に準じた形で行ったとの報告があ

る。安江 高値で薬剤購入しても法令違反は問わなくて良いとの判断ですか。副市長 法令違反ではないと思っています。

## 5年前に調査していれば

### 資料は存在した

市は6月議会で、この問題が取り上げられるのが分かってから慌てて調査を始めたのは明らかです。5年前に調査をしていたなら、平成20年以前の書類は全て残っています。書類のない部分は当時の職員から聞いたとしています

が、「平成21年ごろはジェネリック薬品の出始めだった」「ジェネリック薬品は現在よりは高い値段で取引されていた」など医療関係者ならびにくりするような話が出ています。

## 難病患者にもわくわく・お出かけ券、

### 福祉医療費の支給を

平成25年4月から障害者自立支援法が障害者総合支援法に変わり、障害者の範囲に難病患者も含まれるようになり、障害福祉サービスも障害者と同じように受けられるようになりました。安江ゆう子市議は支給要項の早急な改正を求めて質問しました。

安江 障害者総合支援法に

法律が変わり、難病の方も就労支援施設に通えているのに、わくわく・お出かけ券がなぜ貰えないのか、と言われていますが、交付要綱に難病患者を加える考えはありません。

安江 難病患者の方全てではなく、在宅にいらっしゃる方に限って交付して頂くよう、要項の早急な改正を要望します。

安江ゆう子市議は、笛吹ダム緊急放流時のサイレンなどの警報設置を県に求めるよう要望しました。

## いっしょうけんめい 安江ゆう子市議



5月26日 県障害者スポーツ大会



6月16日 中総体



6月16日 全九州高等学校なぎなた競技大会



7月6日 星鹿保育園七夕